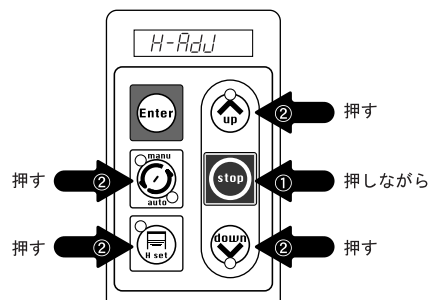


①-1. 上限/下限停止位置の設定方法

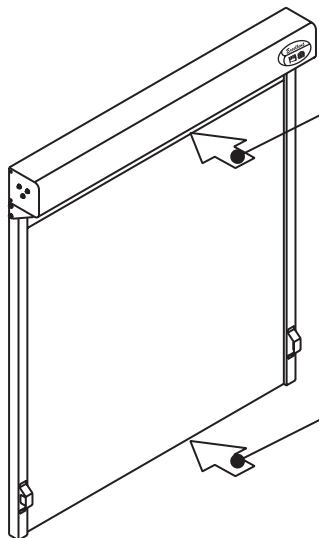
1. 運転モード から 設定モード に切り替える

autoまたはmanuのランプが点灯している事を確認の上、stopスイッチを押しながらup・down・Hset・manu/autoの各スイッチを同時に2秒以上押し続けてください。

「ピー」というアラーム音が鳴り、表示部に **H-Adj** と表示され設定モードに切り替わります。



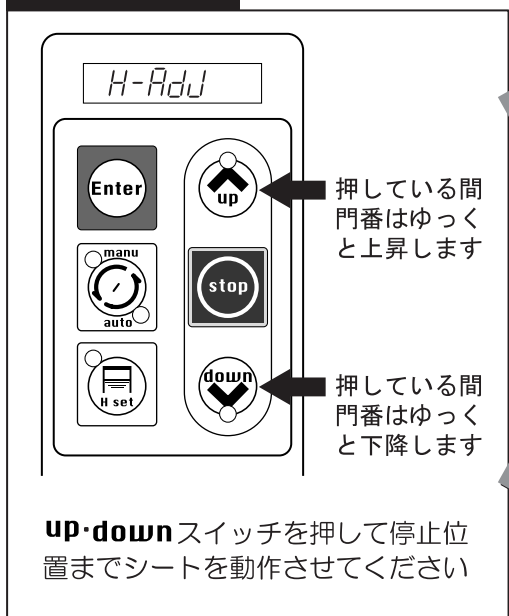
2. 設定モードで上限・下限停止位置の設定を行う



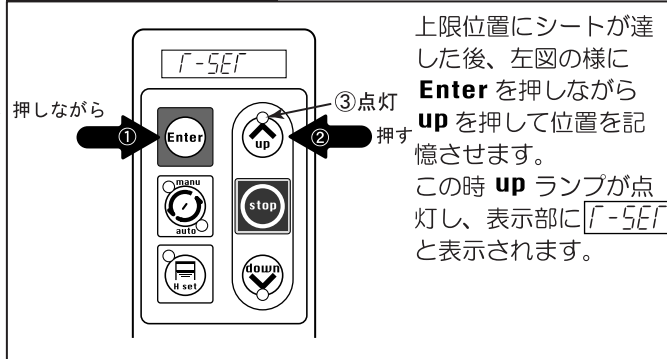
上限停止位置
巻取りボックス下から約100mm下がりの位置

下限停止位置
下端シートが床に隙間無く接触し、シートに弛みのないこと

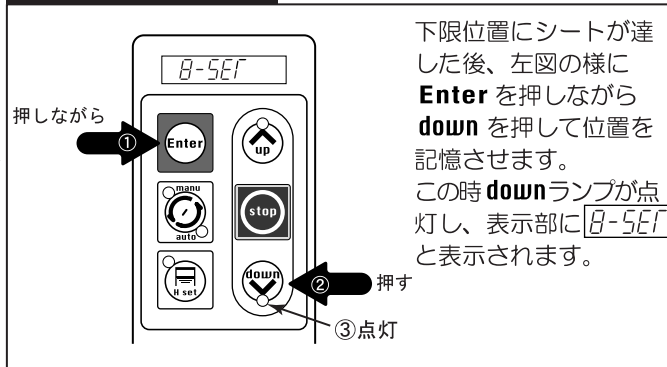
① 設定位置調整



② 上限停止位置設定



② 下限停止位置設定



3. 設定を終了し、設定モード から 運転モード に切り替える

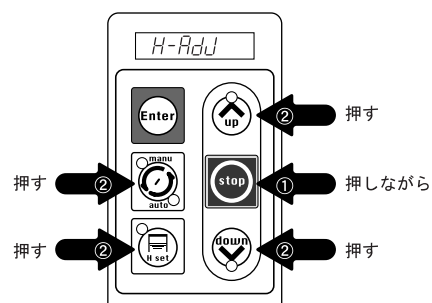
1. **運転モード** から **設定モード** に切り替える と同じ操作をすることで運転モードに復帰します。運転モードに復帰後、手動モードで上昇・下降動作をさせ停止位置をご確認ください。

①-2. 開口高停止位置の設定方法

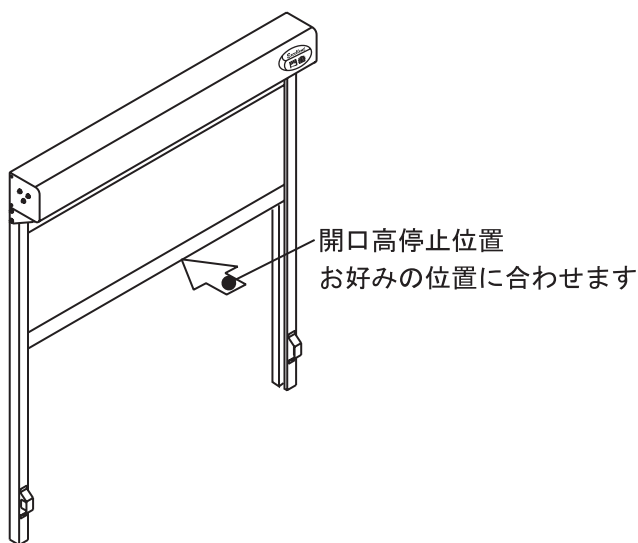
1. 運転モード から 設定モード に切り替える

autoまたはmanuのランプが点灯している事を確認の上、stopスイッチを押しながらup・down・Hset・manu/autoの各スイッチを同時に2秒以上押し続けてください。

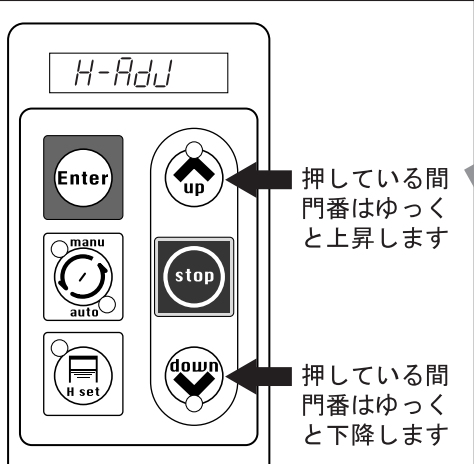
「ピー」というアラーム音が鳴り、表示部に **H-Adj** と表示され設定モードに切り替わります。



2. 開口高停止位置の設定



① 設定位置調整



up・downスイッチを押して停止位置までシートを動作させてください

② 開口高停止位置設定



設定したい位置にシートが達した後、左図の様に **Enter** を押しながらか **H set** を押して位置を記憶させます。この時 **H set** ランプが点灯し、表示部に **H-SET** と表示されます。

3. 設定を終了し、設定モード から 運転モード に切り替える

1. 運転モード から 設定モード に切り替える と同じ操作をすることで運転モードに復帰します。運転モードに復帰後、開口高停止位置をご確認ください。

①-3. 光電管キャンセル位置の設定方法

1. 機能の設定モードに切り替える ※ 機能の詳細については次ページより記載しております。

+ + を同時に押し、機能の設定モードにします。

を押し、項目 **7-OFF** を出し **7-00** に切替えます。 ※ (詳細は34ページを参照ください)

2. 運転モードに切り替える

+ + を同時に押し運転モードに戻します

3. 光電管センサーを確認する

ボタンを3秒以上押し続けます

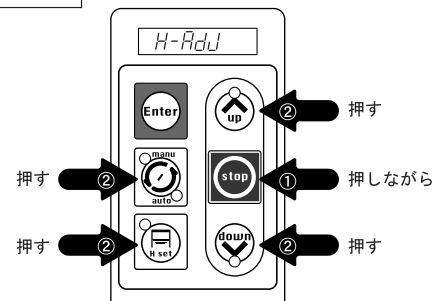
キャンセル設定は光電管センサー1対に
対して個々に行います
モニター機能を使い設定したい光電管
センサーを手などで検知させ確認します

表示	内容
-OFF	検知信号無し
05-00	光電管1 検知時
06-00	光電管2 検知時
07-00	光電管3 検知時
08-00	光電管4 検知時

4. (運転モード) から (設定モード) に切り替える

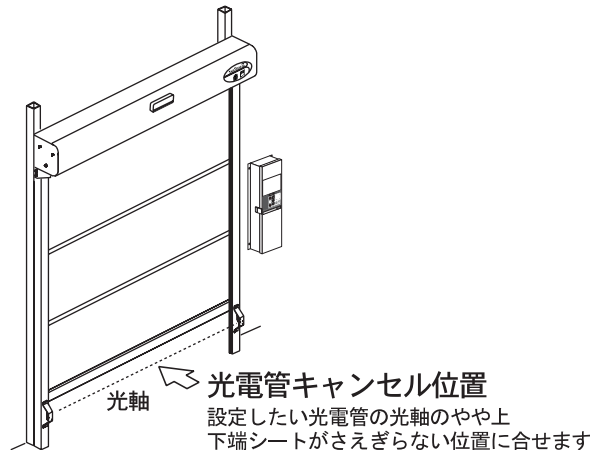
autoまたはmanuのランプが点灯している事を確認の上、stopスイッチを押しながらup・down・Hset・manu/autoの各スイッチを同時に2秒以上押し続けてください。

「ピー」というアラーム音が鳴り、表示部に **H-Adj** と表示され設定モードに切り替わります。



5. 光電管キャンセル位置の設定を行う

を押しシートを光電管キャンセル位置まで移動させます



6. 光電管キャンセル位置を記憶する

※ 3で確認したセンサーに対して5の操作を個々に行い、下図の操作で記憶させます

光電管1のキャンセル設定

表示 → 51-SEF

光電管2のキャンセル設定

表示 → 52-SEF

光電管3のキャンセル設定 (埋込光電管)

表示 → 53-SEF

光電管4のキャンセル設定 (埋込光電管)

表示 → 54-SEF

7. 設定を終了し、(設定モード) から (運転モード) に切り替える

4. (運転モード) から (設定モード) に切り替える と同じ操作をすることで運転モードに復帰します。

運転モードに復帰後、光電管センサーの動作をご確認ください。